



モビリティDXプラットフォーム会員交流イベント

生成AIで描く未来の車室空間 ～ グローバル事例と可能性 ～



吉見 英朗
Microsoft, Principal Architect
hideoyoshimi@microsoft.com

December 17, 2024

アジェンダ



01 自己紹介

02 グローバルの先行事例 1 ～ AIEージェント ～

03 グローバルの先行事例 2 ～ 自動運転エージェント ～

04 まとめと今後の課題

自己紹介

□ 名前

吉見 英朗（よしみ ひでお）

□ 所属

Microsoft Corporation（Redmond本社所属）
モビリティサービス開発部
プリンシパルアーキテクト



HIDEO YOSHIMI
Principal Architect

□ 取り組み

1. モビリティ業界向けのリファレンスアーキテクチャ開発（自動運転やSDV等の先端領域）
2. 日本のOEM様やTier1様へのコンサルティング技術支援

MicrosoftのグローバルOneチームが持つ先進的なAI開発事例を活用し、
日本のOEM・サプライヤ様に新たな価値を提供します。

アジェンダ



01 自己紹介

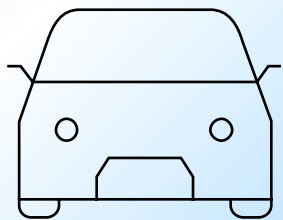
02 グローバルの先行事例 1
～ AIEージェント ～

03 グローバルの先行事例 2
～ 自動運転エージェント ～

04 まとめと今後の課題

Microsoftは自動車業界のパートナー

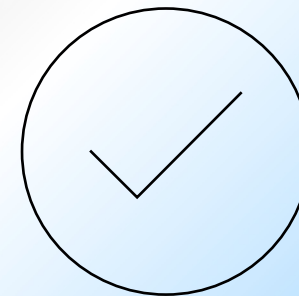
Microsoft の主な原則



OEM/サプライヤ様の製品
(Microsoftはお客様と競争しません)



OEM/サプライヤ様のデータと知的財産
(Microsoftは収益化は行いません)



ブランド体験と顧客関係
(Microsoftはそのイネーブラー
になるだけです)

Microsoftのデジタルコックピットに対するビジョン

Microsoftの主要原則



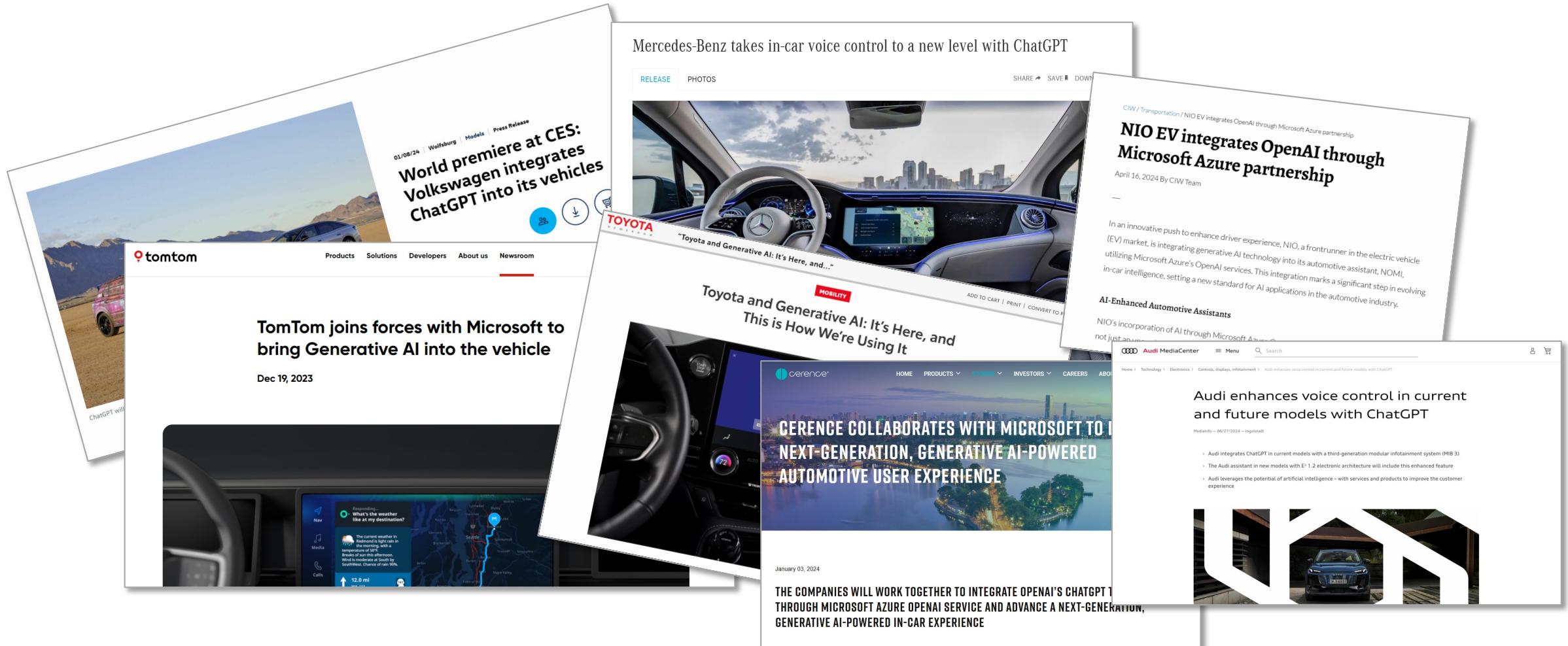
閉鎖的なエコシステムに縛られない
パーソナライズされたソリューションに
より、OEMの差別化を可能にする。

OEMがフレームワークを活用して、
ビジネス価値の創出に集中できるよう
にする。

- ✓ OEMがブランドを所有し、管理する。
- ✓ OEMがドライバーの体験を所有し、コントロールする。
- ✓ OEMがエンドユーザーとの関係を管理し、エンドユーザーデータを保護する。
- ✓ OEMが様々なコックピットドメインで最適なサプライヤーを選抜する。
- ✓ OEMがコックピットを自動化、拡張、パーソナライズできるように、AIを活用した会話機能を備えた包括的なデジタルフットプリントを利用する。
- ✓ OEMがSDVやOTAに依存しない車両へのサービス提供を加速する。

多数のOEM・サプライヤー様とAIエージェントのスマート化を実現

最近のプレスリリースの概要





Mercedes-Benz X Microsoft

900k ‘23年6月から米国のメルセデスドライバー
90万人がベータ版サービスに参加。

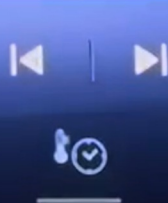
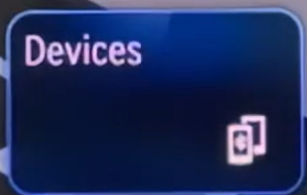
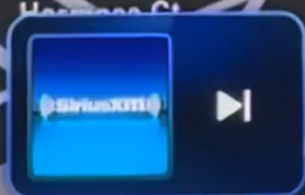
2x 「Hey Mercedes」以来、顧客とのやり取りが倍増。

Soon... 本サービスのグローバル展開を計画中。





Where to?



Climate Menu



HeyMercedes with Smart Search
Powered by Microsoft AI





2:27pm



Where to?



57°F

Winchester



16:00 Pick up delivery

17:30 Buy flowers

18:30 Dinner with Ivy



20.0°



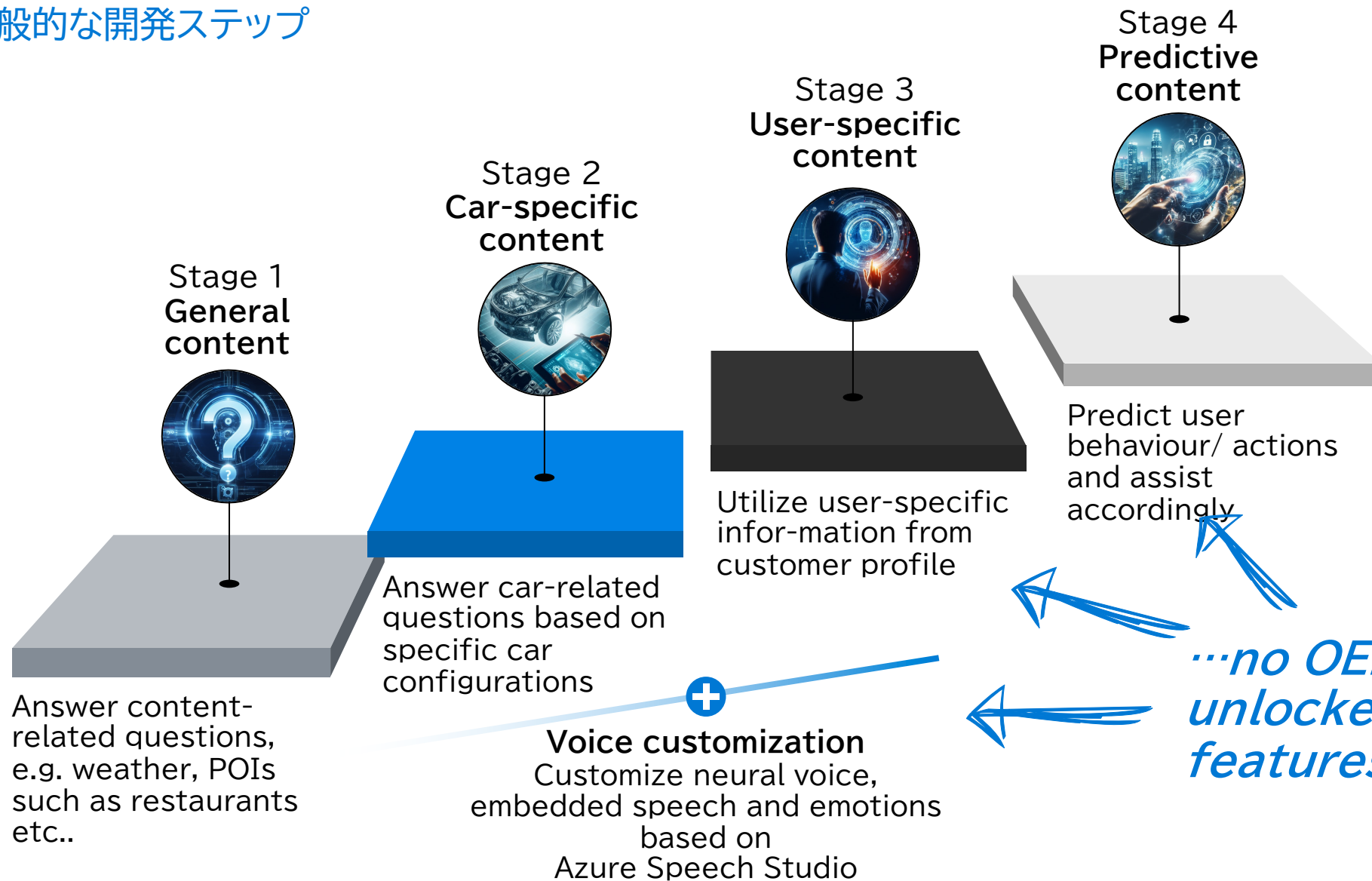
20.0°



tomtom

新しい価値やサービスをお客様と一緒に実現

4段階の一般的な開発ステップ



アジェンダ



01 自己紹介

02 グローバルの先行事例 1
～ AIEージェント ～

03 グローバルの先行事例 2
～ 自動運転エージェント ～

04 まとめと今後の課題

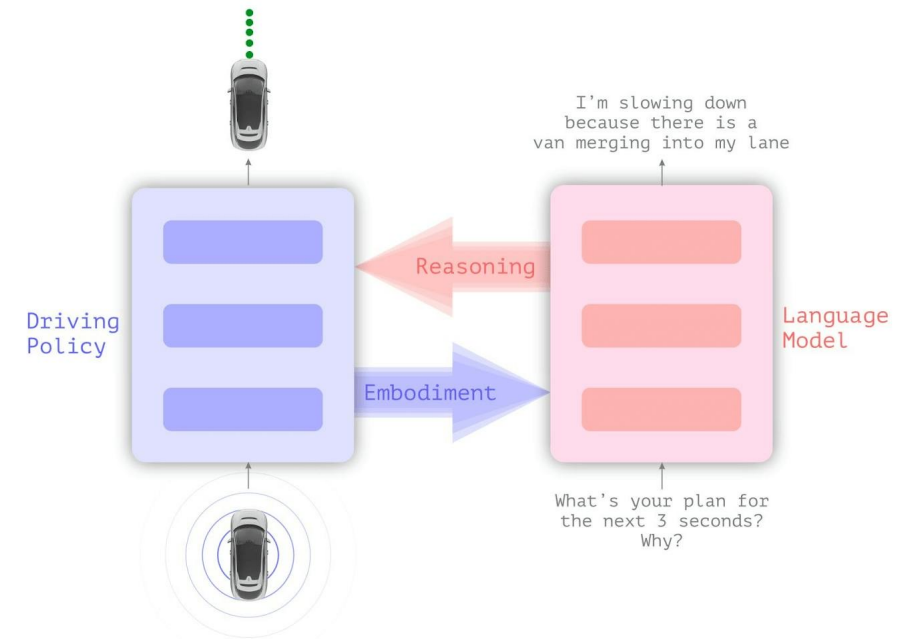
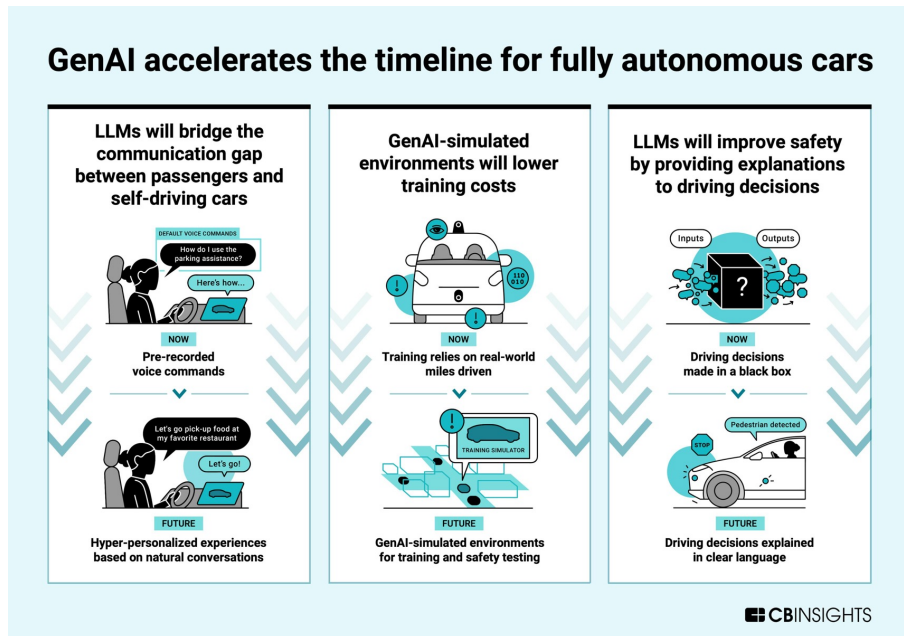
生成AIによる自動運転エージェントのスマート化



- ・生成AIによる車室空間の変革は、AIエージェントだけでなく、安心安全な自動運転の実現においても不可欠。
- ・中国の新興OEMで既に数多くの実施例あり。

自動運転における生成AIの活用シーン

1. 運転判断の説明 : 生成AIは運転判断の理由をリアルタイムで自然言語で説明し、利用者の信頼を高められる。
2. 軌道予測の向上 : 生成AIは周囲の車や歩行者等の動きを予測するプロセス「軌道予測」の精度を向上できる。





DriveVLM System Output

位置: 路口
天气: 晴朗
时间: 白天
道路类型: 普通道路, 路口
车道宽度: [宽, 宽, 宽]
前方车辆: 无
驾驶决策: 保持当前车速, 可以
放心行驶

アジェンダ



01 自己紹介

02 グローバルの先行事例 1
～ AIEージェント ～

03 グローバルの先行事例 2
～ 自動運転エージェント ～

04 まとめと今後の課題

まとめと今後の課題

1. 現状と将来の可能性

□ AIエージェント

- ・ 文脈理解・パーソナライズ が強化され、快適性向上と新たな体験提供が可能。

□ 自動運転エージェント

- ・ ルールベースから E2E へ進化して未知状況への適応力が向上。安全性/効率性を大幅に改善。

2. 今後の課題

課題	AIエージェント	自動運転エージェント
1. コスト	生成AI高度化に伴う開発・導入コストの上昇	仮想訓練や高度な生成AI導入で開発費増加
2. 収益モデル	パーソナライズや新サービス収益化	安全性・透明性向上を付加価値化
3. 市場受容	車内サービス体験の新規需要の創出	消費者の信頼と普及促進
4. 計算力・速度	文脈理解・応答のリアルタイム処理が必須	高い処理能力と高速推論が必要
5. 安全性・透明性	個人の好みや状況に応じた最適対応が必要	エッジケース対応と説明可能なAIの実現

Microsoftは最先端の生成AI技術とノウハウを活かし、世界中のOEM・サプライヤー様と協力しながら革新的な「未来の車室空間」の実現を目指しています。



Thank you.